

会議録(案)

会議の名称	多摩北部都市広域行政圏協議会 令和3年度 第1回審議会
開催日時	令和3年7月30日(金) 午後2時00分から午後3時15分まで
開催場所	多摩六都科学館 2階 201会議室
出席者	小平市 外山まなみ委員 橋本孝二委員 多田政策担当係長 東村山市 横尾たかお委員 志村誠委員 長谷川企画政策課長補佐 清瀬市 宮原りえ委員 城野けんいち委員 長塩企画課主任 東久留米市 当麻一哉委員 高橋和義委員 道辻企画調整課長 西東京市 田村ひろゆき委員 佐藤大介委員 栗田企画政策課長 事務局 池澤隆史 西東京市長(協議会会長) 保谷事務局長 鈴木次長 安達主査
議題	(1) 審議会会長、副会長の選出について (2) 令和2年度 多摩北部都市広域行政圏協議会歳入歳出決算について
報告事項	(1) 令和2年度 事業報告書について (2) 令和3年度 多摩北部都市広域行政圏協議会事務日程について (3) 令和3年度 各専門委員会への付託事項について (4) 令和3年度 多摩六都フェアの日程等について
会議資料	資料1-1 多摩北部都市広域行政圏協議会審議会規程 資料1-2 多摩北部都市広域行政圏協議会・審議会役員表 資料2 令和2年度 多摩北部都市広域行政圏協議会歳入歳出決算について 資料3 令和3年度 多摩北部都市広域行政圏協議会事務日程(予定) 資料4 令和3年度 専門委員会への付託事項 資料5 令和3年度 多摩六都フェアの日程表 令和2年度 事業報告書 多摩六都広域連携プラン(冊子・概要版) (参考資料) 協議会ニュース No.30(令和元年度)、No.31(令和2年度)
記録方法	発言者の発言内容ごとの要点記録
会議内容	
<p>1 開会</p> <p>●事務局から、第18期審議会初回のため、会長が選任されるまでの間、事務局が進行する旨を説明</p> <p>2 多摩北部都市広域行政圏協議会会長 挨拶 第18期審議会委員 自己紹介</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 審議会会長、副会長の選出について</p>	

●事務局から、資料1-1、1-2に基づいて、第18期審議会の会長及び副会長を委員の互選により選出することを提案
—異議なし

●事務局から、審議会会長に西東京市議会から推薦の佐藤 大介委員を選出することを提案
—異議なく、審議会会長を、西東京市 佐藤 大介委員に決定した。

●佐藤会長から就任の挨拶があり、引き続いて、資料1-2により、副会長に東村山市議会から推薦の横尾 たかお委員を選出することを提案
—異議なく、副会長を、東村山市 横尾 たかお委員に決定した。

●横尾副会長から就任の挨拶

(2) 令和2年度 多摩北部都市広域行政圏協議会歳入歳出決算について

●事務局から、資料2により説明

- ・歳出は10年間で最大、不用額は10年間で2番目に小さい額となった。
- ・事務費は歳出の約7割を占め、多くが「負担金、補助及び交付金」。調査研究費はほとんどが「委託料」で、協議会ニュースは、紙面を半分に縮小したところ、前年度の6割程度となった。
- ・歳出は、対前年度比で115万7千円余の増。
うち、事務費が60万6千円の増。会計年度任用職員を長く雇用したことや期末手当が支給されるようになったこと、事務局移転費用などによる。
調査研究費は55万1千円の増。協議会ニュースの減があるが、計画策定支援委託の増による。
- ・多摩六都フェアは、各市の予算で実施しているため、中止による直接の影響はない。

●質疑応答

(田村委員)

- ①令和2年度から会計年度任用職員になったことで事務費が増になったのか、実際に勤務した日数や期間が増えているのか。
- ②調査研究費の委託料について、「事業報告書」を見ると、協議会ニュースの配布部数が2万部ほど減少している理由は何か。

(事務局)

- ①プラン策定などのため、前年度の約8か月から約10か月に雇用期間を長くした。
令和2年度は会計年度任用職員の初年度で、期末手当が支給されることも増要因である。
- ②協議会ニュースは新聞折込みで配布しており、新聞の購読者数の減による。

(田村委員)

令和3年度の会計年度任用職員の雇用予定はどうか。

(事務局)

計画策定の終了等で、今のところ雇用していない。今後事務量が増えるようなら雇用する。

(宮原委員)

調査研究費55万円増の、金額の内訳はどうか。

(事務局)

「委託料」が約54万8千円の増で、内訳は、計画支援委託が約156万円の増、協議会ニュースが60万円程度の減、前年度作成の連続立体交差パンフレットの皆減が40万円程度となった。

(宮原委員)

計画策定支援委託について、予算と比べて増減するのはよくあることか。

(事務局)

計画策定支援委託は、令和元年度決算より増額となったが、ほぼ予算どおりとなった。前年度より増額となったのは、計画策定の最終年度で印刷経費を含んでいたことなどと推察する。

4 報告事項

(1) 令和2年度 事業報告書について

●事務局から、令和2年度 事業報告書、多摩六都広域連携プラン（冊子・概要版）により説明

●質疑応答

（宮原委員）

図書館の相互利用について、他市から地元の図書館に取り寄せた場合は、地元で返却できるが、他市の図書館で直接借りた場合は、当該館に返却に行く必要がある。地元の図書館でも返却できるようにしてほしい。

（事務局）

担当に伝え、検討するようにしたい。

（2）令和3年度 多摩北部都市広域行政圏協議会事務日程について

●事務局から、資料3により説明

—質疑なし

（3）令和3年度 専門委員会への付託事項について

●事務局から、資料4により説明

・本年4月に各専門委員会に付託し、すでに活動を開始している。緊急事態宣言の発令もあり、会議のWEB開催も活用して、「多摩六都広域連携プラン」を推進していく。

—質疑なし

（4）令和3年度多摩六都フェアの日程等について

●事務局から、資料5により、現時点での日程案及び担当市について説明

・感染症対策で、参加人数の制限やセレモニーの省略など、縮小開催を検討している。

併せて、「協議会ニュース」について、参考資料により説明

・9月5日（日）発行で、主要6紙の新聞折込みで20万3千部を配布する。各市窓口でも配布する。

・「多摩六都フェア」の開催情報を掲載して全4面とする。他に、各市の散歩コースの紹介や、多摩六都広域連携プランの記事などを掲載する。

●質疑応答

（田村委員）

感染拡大が想定以上になっている。ヤング・ダンスフェスティバル、ヤングライブフェスティバルは飛沫感染の懸念はないのか。また、対策等があれば示してほしい。続けて中止では発表の場が失われるので、できるだけ開催してほしい。

（事務局）

ヤング・ダンスフェスティバル、ヤングライブフェスティバルは、来年2月開催の予定であり、今のところ開催予定だが、今後の状況を見て検討していくと聞いている。まだ最終判断ではない。また、昨年、開催に向けた対策を検討しており、本年度もそれを基に検討していると聞いている。

（宮原委員）

協議会ニュースについて、各市の市報等と一緒に全戸配布するのは難しいのか。

（事務局）

これまでも検討してきたが、協議会ニュース単独での全戸配布はかなりの予算を要するため、費用対効果の面などから、さらに検討することとしている。市報への折込みは難しい市があり、引き続き検討していく。

5 その他

—特になし

6 閉会

（佐藤会長）

5市で住み続けたいまちを、皆様方と造っていきたい。よろしく願います。